

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	ふたみ潮風ふれあい公園管理運営事業			
予算科目	8 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 都市住宅課		電話番号(内線): 582	
記入者情報	所属長: 武智 年哉		担当責任者: 三谷 陽紀	
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	ふたみ潮風ふれあい公園及び施設利用者			
根拠法令等	都市公園法、伊予市公園条例			
事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。			
事業の内容	公園内施設の維持管理及び修繕等を行なうことにより、適正に施設管理を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	平成28年度から指定管理者制度を導入するため、9月より手続きを開始する。			
改善策の 具体的 取り組み	指定管理者制度導入時にホームページによる施設等の情報発信に努める。			

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	15,589	14,722	5,719	13,648
	人件費	1,591	1,605	802	1,605
	合計	0	16,327	6,521	15,253
人件費 内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	7,954	8,024	8,024	8,024
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,590	1,604	802	1,604
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	8,757	7,430	0	8,499
	一般財源	8,423	8,897	6,521	6,754

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
光熱費	千円	2652	2885	1039	2416
修繕費・工事請負費	千円	3409	1274	502	1264
委託料	千円	7713	8491	3230	8129
有料施設利用者数	人	23824	23824	13441	21606

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	17,500	18,000	18,000	18,000	18,000	89,500

成果指標				
成果指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数＝成果指標			
指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりとして、有料施設の利用者数を事業の評価と考え、指標とした。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標32年度
目 標	1.01	1.01	1.01	0
実 績	1.08	0.93	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	次年度から指定管理者制度を導入するため、9月より手続きを開始、11月に応募者によるプレゼンテーションを実施し、候補者が決定、12月議会で議決を受け、指定管理者が決定した。利用される方への利便性やサービスの向上が図られるよう適正な管理運営を行なう必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域の実情に沿った対応方針の整理を行いながら、公園ごとに、あるいは同一公園でも施設ごとに、その性格や目標とすべき管理水準に応じてストックマネジメントを行っていくこととする。多様化する市民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費削減を図ることを目的に指定管理者制度を導入した。業務を担う受託者が創意工夫を最大限に発揮することによって委託者・受託者双方に品質・経済性・持続性の観点から利点のある方式を見出す必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題